

○「農業懇談会で課題認識。さらなる話し合いへ」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月12日(水) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市役所
- 出席者: 委員3人、推進委員1人
協力員8人、市1人、事務局1人
※委員4人、委員以外10人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会(地域の状況を協力員が説明、市から京力農場プランと中間管理事業の説明)
杉末地区(農地は辻町地区) 高齢、死亡等で荒地が発生しているが引き継ぐ者がいない
滝馬地区 耕作農家6戸(65~76歳)。後継者いない。獣害により農地管理ができない状況
宮村地区 集落営農組織が1haを管理。不耕作地30aにオリーブ栽培。与謝福祉会が30a耕作。40歳Uターン
辻町地区 農家6戸(うち80歳以上3人)。宅地転用が進む。共同化や集落営農を望む声
惣・皆原・山中地区 後継者なし。中山間継続に不安 等
波路・波路町地区 農家以外を含めた話し合いが必要 ※推進委員から話し合いの協力要請



4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援